

VG 槻輪だより

会報 第238号

発行日 令和6年7月1日

発行・編集 VG 槻輪

代表者 大岡成一

<http://web1.ibj.co.jp/~kirin>

VG 槻輪
わがまち紹介
活動報告

神社仏閣や地名から学ぶ

歴史の“まち”

赤大路

鴨神社・子安神社・

総持寺参拝

鴨神社(赤大路)



鴨神社(赤大路)

- 島下郡の旧社格の村社でした。
- 島下郡は、大阪府(摂津国)にあった郡で嶋下郡と表記することもある。
- 現在の祭神は、次の通りです。
- 大山積命 (おおやまづみのみこと)
- 伊弉諾尊 (いざなぎのみこと)
- 伊弉冉尊 (いざなみのみこと)
- 鴨御祖大神 (かも)

のみおやおおかみ)「安威川」と「淀川」の支流「芥川」のそのまた支流「女瀬川」の間の平地、高槻市「赤大路町」に鎮座する社です。「安威川」までは1 km 近く、「女瀬川」までは2 km 近く離れています。

鴨神社の創建由緒等に関して、以下のよう記しています。**※赤大路町の『鴨神社』を創建したのは私たちの祖先である鴨氏族(以下、通称「鴨族」と記します)です。**

その鴨族の先住民族は、紀元前後に奈良県の葛城山にある高鴨神社を祀った鴨族でした。その一族が我が摂津国嶋下郡方面へ勢力を伸ばしてきたのです。その時期は、鴨族が神武天皇とともに卑弥呼を打倒した、少なくとも3世紀中期より前だと思われる。その当時の関西を鳥瞰しますと、

今の大阪城がある位置は上町台地と言われる高台であって、その西側はすぐ海だったのです。

その内陸部に5世紀頃までは大きな河内湖があって、その湖は奈良から旧大和川を始め、桂川、木津川、芥川、安威川が注ぐ淀川とも連なり、その川の流れに沿って葛城の鴨族があるいは朝鮮半島から渡来した鴨族が直接、赤大路へ勢力を伸ばし、鴨林を拠点に拡大し始めたと思われま。

※平安時代末期には、後白河天皇中宮・建春門院が「三島神」



6月13日「わがまち紹介」活動で鴨神社に参拝

に皇子誕生の祈願をしたと伝わる。

明治5年(1872年)、近代社格制度において村社に列した。

昭和46年(1971年)、本殿・拝殿が新築されました。(こやすてんまんぐう)

赤大路町11丁目の鴨神社は、菅原道真公の側室、其の子及び公を祀っています。



鴨族創建の鴨神社

社伝によれば醍醐天皇の延喜元年(901)公の太宰府に左遷の時、側室が臨月であったが別れを惜しみ公の後を追ってこられ当地を過ぎる時に俄に産氣を催した人が家に寄る隙もなく輿中に生まれ、待者が倉輿を担いで民家に入ったが流血は輿中より洩れ道路が赤く染まったので、「赤大路」の地名が起った。

同側室は、産後の経過が悪く、ついに当地で死去された。

※本報告は、会報「第238号」の2頁に継続します。

2024年7月「わがまち紹介」活動
急変貌した「西河原地区」
を散策しましょう!!

月 日: 2024年7月1日(木)
施設見学: 疋水神社・西河原社神社・西河原公園他
集合場所: JR 総持寺駅改札 出口
その他: 詳細は別途配布資料を参照下さい。

2024年8月「わがまち紹介」活動
自然と人が共生する文化の“まち”京都市北区
立命館大学国際平和ミュージアム見学

月 日: 2024年8月8日(木)
施設見学: 立命館大学国際平和ミュージアム
集合場所: 阪急電鉄烏丸駅改札出口 集合
その他: 詳細は別途配布資料を参照下さい。